

穂 学



令和5年度

広州日本人学校 学校便り

[No25]

令和6年3月13日(水)

発行責任者 校長 加藤康德

「令和5年度の広州日本人学校全校登山が終了しました！」

昨日は卒業式、そして今日は修了式、離任式と年度の終わりを告げる行事が行われました。昨年4月、私は始業式で子どもたちに次のように話をしました。

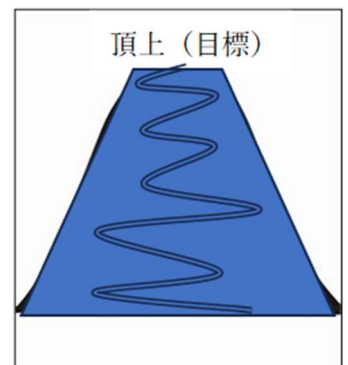
「学校の1年間は、みんなで山の頂上(目標)を目指して登山をするようなものです。」

最終日である本日、私たち教職員は、登頂という結果だけではなく、子ども達と一緒に頂上(目標)を目指してきたという過程にも「喜びと幸せ」を感じております。

しかし、令和5年度の広州日本人学校の全校登山は今日で終了です。

日本人学校は本当に「一期一会」という言葉がふさわしい学校です。多くの出会い、そして多くの別れ、その一つ一つが人を大きく成長させてくれます。(転出した子ども達もきっとこの3月に新しい山の頂上にたどり着くことでしょう。)

そして、4月には新たな登山が始まります。次の山の標高は間違いなく今年よりも高くなります。今年度、広州で学んだ5つのつながりを感じ、子ども達には自信を持って次の登山にも挑戦してもらいたいです。私たち教職員は子ども達をずっとずっと応援しています。



<卒業式の風景>



<式次第と校歌>

卒業式での校長式辞(一部抜粋)

～卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは、本日をもって、小学部、中学部それぞれの義務教育の課程を終えることとなります。皆さんが大勢の人に見守られながら健康にこの日を迎えられたことを、大変嬉しく思います。思えば卒業生の皆さんは、コロナによる制限の中、まるでラップに包まれているように外部とのつながりが遮断され、様々な教育活動の停止が余儀なくされてきた中で教育を受けてきた世代と言えます。

ただ、本校はコロナによる様々な制約があった中でも、関係者の皆様、保護者の皆様、そして私たち教職員が共に知恵を出し合いながら一致団結して「子どもの教育を絶対に止めない」という合い言葉の基に皆さんのために様々な工夫を行い、教育を持続してきました。その結果が、本日の卒業式につながっていると私は考えます。皆さんもそのことは忘れないでください。

今、コロナは収束しました。しかし、卒業生の皆さん、これから先、皆さんはコロナウイルスとの戦いのように乗り越えなければならない人生の試練に再び出会うことがあるかもしれません。ではそのような場合、何を頼りにその試練を乗り越えていかなければならないのでしょうか。今日は校長先生の最後の授業として「自信と誇りとなる大切なつながり」についてお話をしたいと思います。～

「小中連携授業の紹介です。」



<小3年生 算数>
(山田事務長)



<小6年生 社会>
(吉田先生)



<小6年生 理科>
(平野先生)



<中2年生 道徳科>
(佐竹先生)

「令和5年度つながりを未来に実感させる活動の紹介 総集編」

<学校経営スローガン>

「つながり」を「未来に実感させる」

<大 広州日本人学校の創造

- ①先生とのつながり
- ②授業とのつながり
- ③友だちとのつながり
- ④保護者・日本人社会とのつながり
- ⑤中国とのつながり



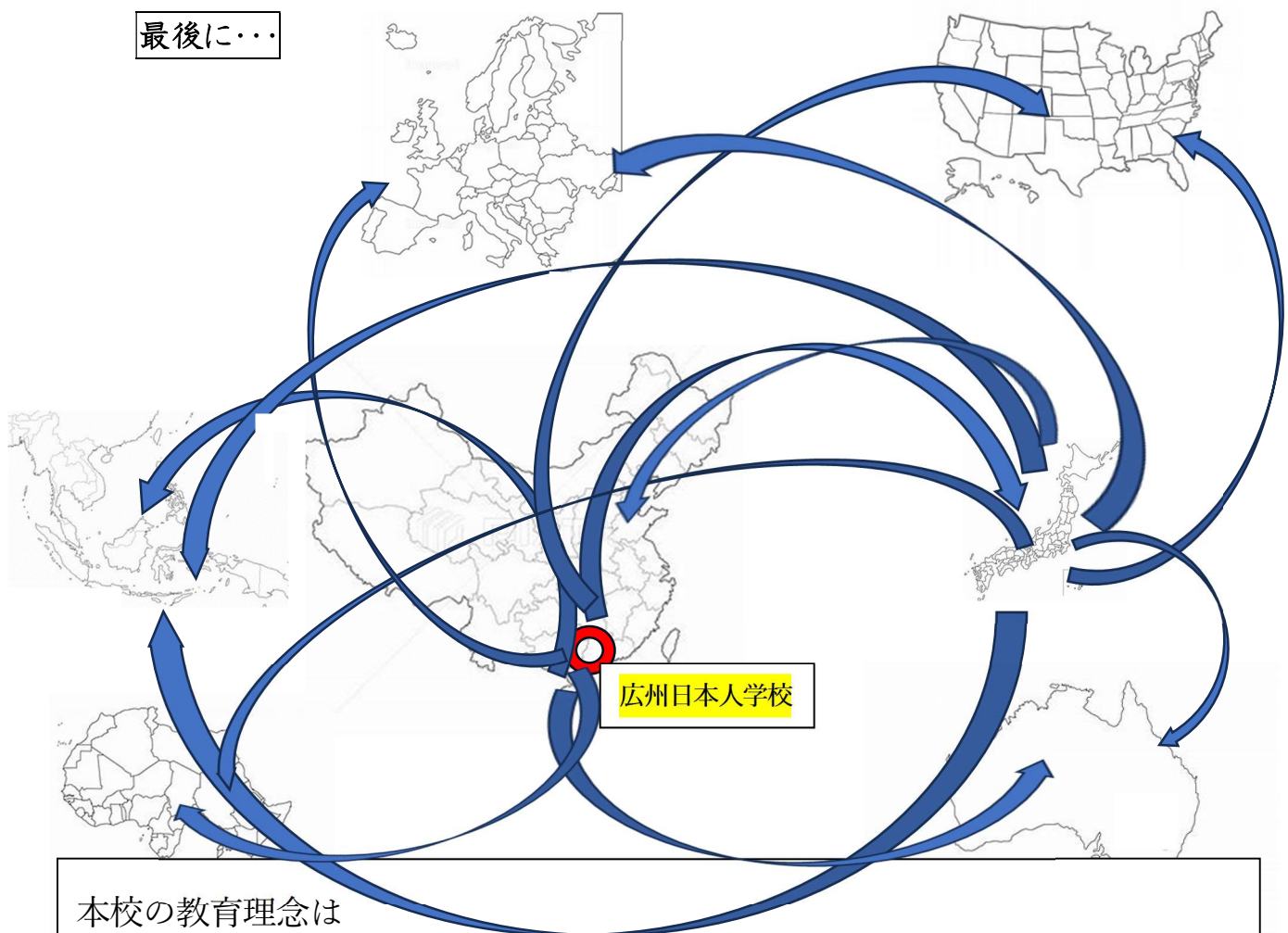
<この3月に広州日本人学校を離れる先生方を紹介いたします。>

- 加藤康德 「校長として充実した3年間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。」
- 手塚みのり 「3年間、広州日本人学校で子ども達と過ごせて、大変幸せでした。」
- 伊藤優子 「たくさんの出会いと学びの3年間でした。本当にありがとうございました。」
- 越智俊介 「夢のような3年間。広州で出会った全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。」
- 廣本智一 「皆様に支えられて、三年間過ごすことができました。本当に感謝しています。」

- 岡田晃輔 「この2年間は一生の宝物です。最高の時間をありがとうございました。」
- 南善治 「校種の違う児童生徒と出会い、多くを学びました。ありがとうございました。」
- 山田惇史 「2年間ありがとうございました。世界のどこにいても、ずっと応援しています。」
- 柴田馨 「広州日本人学校での、かわいい子供たちとの出会いに感謝しています。」
- 石倉右理 「みなさんの笑顔に、元気をもらっていました。2年間ありがとうございました。」
- 西崎桃子 「一生の宝物になる時間と経験を得ることができ、幸せな1年間でした」
- 佐藤悠乃 「楽しい時間をありがとうございました。これからも応援しています。」

令和5年度、本校に対する保護者の皆様、学校関係者の皆様の温かいご支援とご協力に感謝いたします。今年度は12名の教員がこの学校を去りますが、新年度は新たに13名の教員が赴任することになっております。令和6年度も広州日本人学校をどうかよろしくお願いいたします。

最後に・・・



本校の教育理念は

「広州日本人学校とのつながり（5つ）を未来で実感し、世界でたくましく生きていくことができる子どもの育成」です。この学校で学んだことを糧に今後もそれぞれの場所で子どもたちが学び続け、やがては大人となり国際社会の中で活躍することを願っております。